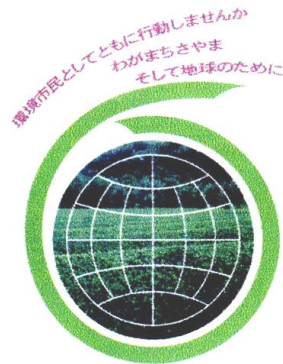


特定非営利活動法人 さやま環境市民ネットワーク



第14回通常総会（案）

- 形式： 書面表決（新型コロナウイルス感染対策のため）
- 返答期限：5月23日（日）まで（FAX・メール発信または郵便物投函）

議案書

議案第1号 2020年度事業報告

議案第2号 2020年度決算報告及び監査報告

議案第3号 2021年度事業計画案

議案第4号 2021年度活動予算案

議案第5号 2021年年度役員体制案

議案第1号 2020年度事業報告

＜基本方針＞

本年度掲げた「基本方針」に対する評価は、次のとおり。

- ①狭山市の「第2次環境基本計画」及び「協働によるまちづくり条例」をふまえ、市民が主体的に取り組むことが望まれる事業を展開する。また、「2030アジェンダ」で示されたSDGs（持続可能な開発目標）も視野に入れつつ行動する。
 - 新展開として、「環境啓発動画」を10本作成しYouTubeに投稿し、市民や会員を含め多くの方に紹介できた。また、「脱炭素チャレンジカップ」決勝進出で全国オンライン発表を行い、環境大臣賞金賞を受賞し、本法人の取組みを評価頂きました。今後の中長期戦略については、市の「ゼロカーボンシティ宣言」と「環境基本計画改訂」も視野に入れ、次年度に詰めていく。
- ②緊縮予算のもと、経費の削減に努める一方、収入増にも取り組み、継続的な事業運営に努める。
 - 10万円を1会員様から寄付頂き、感謝状を贈呈した。また、「令和2年度埼玉県NPO活動促進助成事業（市内河川の魅力を掘り起した総合まちおこし事業）」申請が採択され、助成金と寄付金を活用した。
- ③会員の定着と拡大に努める。特に企業や団体の加入に努める。また、新たに創設した特別会員の加入を促進する。
 - 若干の新規加入があったものの、高齢化等で退会者もあり、会員数は162名（昨年度：164名）と横ばい状態にとどまった。特別会員についてはコロナ禍で積極的な勧誘活動に至らず。2月の環境大臣賞金賞（市民の部）受賞を契機に、次年度に促進を図る。
- ④会員の活動への参加を促進するとともに、若い世代の環境まちづくりへの参加を促進する。
 - コロナ禍で行事が中止となり、参加促進は断念した。しかしながら、狭山市のボーイスカウト・ガールスカウト団体との環境活動の連携について、次年度から協議できる人脈作りができた。
- ⑤環境まちづくりに関わる市民団体への支援とともにネットワーク化を促進する。
 - 「狭山市環境団体紹介2021年版」（31団体紹介）の発行（3/20）と配布ができた。「環境団体交流会」は企画したが、コロナ禍で会場が休館となり延期とした。
- ⑥環境まちづくりの推進を担う中核的人材の発掘・育成を図る。
 - まだ実りには至らないが、YouTube投稿や環境大臣賞金賞受賞を契機に「さや環」の知名度も若干広がったと思われ、今後の中核的人材の確保に繋げられるように地道な活動を続けていく。
- ⑦新型コロナウイルス感染の影響に配慮しつつ、市の対応も勘案しつつ、活動を推進する。
 - コロナ禍中、できる活動（YouTube投稿、室外活動、オンライン会議等）を協働団体と一緒に模索してきた。

1) 諸会議

- ・総会：第13回通常総会を5月に開催（コロナ禍で書面表決に切り替え）
- ・理事会：4月に開催（コロナ禍でメール理事会）。
- ・運営委員会：9回開催（原則、毎月第2火曜日、コロナ禍で5月・6月・翌年1月休会）

2) 事業

表-1 2020年度事業の概要

事業区分	事業内容
1. 情報提供・情報交流	<p>①広報紙などの発行（継続）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会報「さやか」の発行（年4回、No.52～55を発行）。No.52は特定外来生物「クビアカツヤカミキリ」特集として、協働で参画した新狭山ロータリークラブからの印刷支援を頂いた。また、No.55については同じく脱炭素チャレンジカップ金賞受賞特集として、さや環の活動を応援してくれている22の団体・事業者の広告を入れて、資金面の応援を頂いた。 ・広報「じゅんかん」の発行（ごみ減分科会、年3回）。 ・事業案内「2020年度版」の発行は見送った。 <p>②ホームページ等の管理運営（継続）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページを活用し、全体事業や各分科会事業の情報や環境関連情報等を随時更新。また、今期作成したYouTube投稿動画もQRコードを載せ、リンクを取れるようにした。

	<p>③環境サロンの運営（継続）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で毎月1回の定例「環境サロン」（室内）はすべて中止した。 ・代替として、場所を水野の森（室外）に変えて10/24に「お昼の環境サロン」を開催（参加者数：38名）。アフタヌーンティとオカリナ演奏、池原昭治先生のお話、森の散策などで交流を図った。 <p>④環境団体との交流を促進（継続）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内の環境団体の交流の場として「環境団体交流会 2020」を2/27で計画するも会場が休館となり延期した。 ・並行して進めた「狭山市環境団体紹介パンフ 2021年版」の改訂作成のため、掲載団体と情報交換をした。また、環境活動をしている新規8団体と情報交換ができ、内5団体から紹介パンフへの掲載を承諾頂いた。 <p>⑤その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さいたま緑のトラスト協会（緑の分科会）、荒川流域ネットワーク（川分科会）、埼玉県温暖化防止活動推進センター（温暖化対策分科会）などを通じて交流を促す。 ・イオン狭山店「幸せの黄色いレシートキャンペーン」に団体登録し、本法人の活動をPRするとともに活動支援を受ける。 ・新型コロナウイルスに対応し、諸情報発信媒体にQRコードを活用し、ユーチューブ等の動画を含む教育・普及・啓発を行い、受信対象者を拡大。 ・その他、適宜、さや環の団体会員をはじめ、市内の環境関連協力団体との交流を促進。
2. 教育・普及啓発	<p>①マイタウンソーラー発電所建設の推進（継続）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの4カ所の発電所の建設を足掛かりに発電事業に関する普及啓発を推進してきましたが、ソーラー発電売電価格の低下も加わり、5号機の建設候補地は継続模索中。（温暖化対策分科会主導）。 <p>②環境ウォークの開催（継続）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で開催中止。 <p>③環境まちづくり資源マップの一環として「環境団体紹介パンフ 2021年版」の作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2017年に発行した「狭山市環境団体紹介」の2021年改訂版パンフレッドを作成した（3/20発行）。 5団体追加して合計31団体の活動内容を紹介し、MAPに活動の拠点、連絡先を掲載（緑の分科会&事務局） <p>④出前環境講座の開催（継続）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の中で公民館と開催を模索したが、公民館判断で中止となった。（出前講座開催 0） なお、奥富公民館主催の熟年大学で使える環境の質問プリント作成要請があり、ごみ減量と温暖化対策に関する質問プリントを作り、奥富公民館と中央公民館に提供した（1/8）。 <p>⑥その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会報「さやか」や広報「じゅんかん」を、市庁舎と公民館及びリサイクルプラザに設置して貰い、コロナ禍でもできる普及啓発を継続してきた。
3. 連携及び協働の推進	<p>①狭山市リサイクルプラザ展示コーナー等運営業務の受託（継続）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不用品・再生品の展示・頒布、施設案内、各種体験教室の開催等を受託も、コロナ禍により年間で延べ約5か月の臨時休館。 展示コーナー等来場者数： 7,150名（昨年度：18,699名） 不用品持込点数： 19,253点（昨年度：45,874点） 不用品頒布点数： 13,582点（昨年度：33,552点） 総売り上げ： 1,585千円（昨年度：4,640千円） *リサプラ休館期間が長く（4/1～6/18、1/10～3/31）、来場者数は激減。これにより不用品の持込・頒布・売上も減少した。 体験教室：6回、30名（昨年度 24回、152名）

②狭山市環境課からの環境保全活動事業の受託（継続）

＜「エコライフ DAY さやま」の普及推進（温暖化対策分科会主導）＞

- ・夏のエコライフ DAY 参加者：14,661 名（昨年度：15,490 名）
冬のエコライフ DAY 参加者：15,612 名（昨年度：17,452 名）
計 30,273 名（多くの市民に温暖化対策への気づきを促す）
- ・小中高大学生からの環境標語及び川柳応募者：638 件（昨年度：382 件）、優秀作品を表彰 24 件（昨年度：22 件）

＜環境啓発動画の作成と YouTube 投稿＞

- ・腹話術インタビューで次の動画を作成し、YouTube 投稿をした。

動画

「川の話」



「ごみ減量の話」



「地球温暖化の話」



「クビアカツヤカミキリを知ろう」

（前編）



（後編）



＜市や地域イベント等における普及・啓発及び環境教育企画の推進（温暖化対策分科会主導）＞

- ・コロナ禍で行事*の中止が主催者から発表され、環境コーナーの出展ができなかった。（※：狭山新茶と花いっぱいまつり、リサイクルマーケット春・秋、新狭山北口スカイロード祭り）
- ・夏の省エネ行事「LIGHT DOWN IN SAYAMA」（あかりを消して星空を見よう）を赤坂・堀兼公園で 8/14 に計画も、雷雨予報で中止した。（事前参加申込者 30 人内子供 18 人、他スタッフ 21 人）

＜河川を活用した環境学習の支援（川分科会主導）＞

- ・コロナ禍で入間川小学校の支援は中止となった。

③狭山市社会教育課からの環境学習講座企画運営業務の受託（継続）

- ・コロナ禍の中、各地区の公民館と連携し、緑、ごみ減量、温暖化対策をテーマに「環境にやさしいライフスタイル講座」を年 3 回開催した（延べ参加者：63 名、スタッフ 24 名）。（他に開催断念 3 件）
 - 1 1 月：「温暖化を感じる森の変化」@智光山公園（20 名参加）
 - 1 1 月：「小物づくり〔紙トンボ、ぶんぶん、ミニぞうり〕」
@入曽地区センター大ホール（子ども 8 名、保護者 8 名参加）
 - 1 2 月：「森の木を切る体験学習」@緑のトラスト狭山（子ども 15 名、保護者 12 名参加）

④狭山市・さいたま緑のトラスト協会等との連携・協働（継続）

- ・緑のトラスト保全第 9 号地（通称：緑のトラスト狭山）の管理運営。出席者延べ 146 人（緑の分科会、水野の森里山の会協力）。
- ・水野の森で 5 月に開催計画したロッジ水野の森保全委員会&水野公民館共催の「第 7 回里山ウォーク*」新型コロナの緊急事態宣言の為中止（緑の分科会）

⑤「市民との協働による燃やすごみ大幅削減プロジェクト」の推進（継続）

- ・昨年度に引き続き、燃やすごみの大幅削減をめざし、資源循環推進課と協働し、「有機性廃棄物処理研究会」において調査研究を推進（ごみ減量&温暖化対策分科会メンバー主導）

	<p>⑥「特定外来生物の駆除活動」の推進（新規）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サクラ等を枯損させるクビアカツヤカミキリの市内侵入を防止するため、埼玉環境科学国際センターや行政の協力を得ながら市内37地点、865本の調査により、被害“0”を確認。埼玉県及び市長へ報告済み（緑の分科会主導） ・（オオキンケイギク、ナガミヒナゲシの駆除）川越狭山工業会、ロータリークラブの活動 ※過去に上記駆除啓発のチラシを作成・回覧配布 <p>⑦環境まちづくりの推進に向けた行政との意見交換の促進（継続）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古紙・古布の資源化に関し、資源循環推進課と協議をしつつ、それを推進（ごみ減量分科会主導）。 ・狭山市環境課、環境関連協力団体と協働し、サクラ等を枯損させるクビアカツヤカミキリの市内侵入を防止する啓発活動を展開（緑の分科会主導） ・狭山市商業観光課と入間川河川敷利活用や県土と不老川の改修について意見交換（川分科会主導） <p>⑧その他、関係団体などとの連携・協働</p> <ul style="list-style-type: none"> ・狭山まちづくりリストの会主催「さやまちゃりんこフェスタ」に協力 ・「令和2年度埼玉県NPO活動促進助成事業（市内河川の魅力を掘り起した総合まちおこし事業）」の採択を受け、狭山市の川を、地質学・歴史・野鳥などに詳しい団体や個人と連携して、狭山市の川の誕生を含む歴史と魅力を、冊子や動画（YouTube投稿）あるいは講談にまとめ報告した。 <p>冊子 「狭山市の川を知る」</p> <p>動画 「入間川上流探検！」 「入間川化石探検！」</p>    <p>「入間川野鳥観察」</p> <p>かたり 「影隠し地藏さま」</p> <p>創作講談 「入間川太平記」</p>    <p>・その他、適宜、関係団体との連携・協働を推進。</p>
4. 相談助言及び支援	<p>・特になし</p>
5. その他調査研究・提言等	<ul style="list-style-type: none"> ・入間川の魚類調査（第2次環境基本計画に掲げられている入間川における魚類生息種の調査・確認）。 ・社会福祉法人狭山市社会福祉協議会から、「さや環」が地域福祉の増進に貢献したと、感謝状を贈呈頂いた。（11/25狭山市社会福祉大会） ・一般社団法人地球温暖化防止全国ネット主催の「脱炭素チャレンジカップ2021」で決勝進出し、2月9日のオンライン発表で環境大臣賞・金賞（市民の部）を受賞した。また当日受賞後に市長報告をして祝福された。 また、右の受賞標章の広報や宣伝への使用権も主催者から頂いた。 

議案第2号 2020年度活動決算報告及び監査報告

2020年4月1日から2021年3月31日まで (単位:円)

科 目	金 額			備 考
	昨年度実績	予 算	決 算	
I. 経常収益				
1. 受取会費	437,000	435,000	410,000	※1
2. 受取寄付金	48,070	50,000	102,000	会員から
3. 受取委託金	4,574,310	4,543,000	2,914,665	※2
4. 受取助成金	21,140	21,000	824,445	県助成金、新狭山 RC
5. 受取補助金	0	0	0	
6. 売上金	271,921	215,000	249,665	市民発電所、生ごみバケツ、他
7. 受取謝礼金	73,000	59,000	0	コロナ禍で出前講座なし
8. 受取参加費	359,300	300,000	79,000	環境サロン、県助成事業
9. 協賛金	60,000	60,000	44,000	会報さやか特集号広告
10. 受取利息	23	23	26	
11. 市民発電所積立金	220,000	50,000	0	
12. 雑収入	0	0	200,000	コロナに負けない事業者応援金
13. 未収金	0	0	406,770	今期環境保全・社会教育委託費
経常収益計	6,064,764	5,733,023	5,230,571	
II. 経常費用				
1. 事業費				
(1) 人件費	3,902,150	3,800,000	2,614,510	
1. 給与、手当	3,902,150	3,800,000	2,614,510	リサイクルプラザ、県助成事業
(2) その他経費	1,741,442	1,766,000	1,958,444	
1. 支払謝礼金	630,604	570,000	705,970	講師、動画作成、他
2. 交通費	64,116	60,000	38,400	リサブラ駐車場使用料、他
3. 消耗品費	187,295	180,000	180,677	印刷用紙、インク、作業手袋等
4. 会議費	41,500	33,000	206,800	会場費(県助成事業、他)
5. 設備費	353,175	260,000	119,338	ビデオカメラ、プロジェクター、他
6. 印刷費	92,153	150,000	170,279	会報、冊子(川)、パンフ、他
7. 通信費	77,107	80,000	70,648	HP、電話代、郵送費、他
8. 渉外費	14,900	15,000	8,091	協働団体
9. 保険料	4,760	6,000	0	
10. 支払会費	3,000	3,000	0	
11. 調査研究費	6,933	52,000	9,420	各種研究
12. 雑費	265,899	227,000	65,821	その他費用
13. 予備費	0	130,000	0	
14. 返還支出	0	0	183,000	県助成金の一部未使用金返還
15. 支払応援金	0	0	200,000	コロナ応援金支払(受託減額者)
事業費計	5,643,592	5,566,000	4,572,954	
2. 管理費				
(1) 人件費	0	0	0	
(2) その他経費	456,718	467,000	369,369	
1. 支払謝礼金	227,000	220,000	186,000	担い手謝礼 ※3、他
2. 交通費	114,000	75,000	75,000	担い手交通費 ※4
3. 消耗品費	13,169	20,000	23,538	印刷用紙等、除菌材、他
4. 会議費	4,800	4,000	2,800	運営委員会、他
5. 設備費	0	0	0	
6. 印刷費	6,250	20,000	2,900	総会資料印刷等
7. 通信費	10,719	35,000	12,929	郵送費、HP管理料、電話代等
8. 渉外費	18,300	19,000	12,742	協働団体、弔電、他
9. 保険料	42,600	43,000	42,440	NPO 活動総合保険
10. 支払会費	18,000	28,000	6,000	協働団体
11. 雑費	1,880	3,000	5,020	収入印紙、振込費、他
管理費計	456,718	467,000	369,369	
経常費用計	6,100,310	6,033,000	4,942,323	
当期正味財産増減額	-35,546	-299,977	288,248	
前期繰越正味財産額	3,226,150	2,970,604	2,970,604	
正味財産	3,190,604	2,670,627	3,258,852	
市民発電所積立金取崩額	220,000	50,000	0	
次期繰越正味財産額	2,970,604	2,620,627	3,258,852	

※1 2021.4.1.現在、個人 127/団体 13/事業者 22 計 162

※2 狭山市との委託契約:リサイクルプラザ、社会教育(前年度分の今期振込)

※3 担い手謝礼金:代表(15,000円)、副代表、事務局長、会計、企画、HP、環境サロン、環境保全、社会教育、分科会(以上 12,000円)、但し兼任の場合は減額)、監事(3,000円)、その他常在スタッフ

※4 役員及び常在スタッフで、出席度数に応じて

別表1 本部会計

	科目	金額	備考		
経常収益	受取会費	410,000	現金 221,000	振込 189,000	
	受取寄付金	102,000	会員から		
	売上金	24,400	生ごみバケツ、環境カルタ		
	受取利息	26	銀行預金利息		
	雑収入	200,000	コロナに負けない！さやまの事業者応援金		
	合計	736,426			
経常費用	科目	事業費		管理費	
		金額	備考	金額	備考
	支払謝礼金	0		186,000	担い手謝礼金
	交通費	0		75,000	担い手交通費
	消耗品費	72,689	生ごみバケツ仕入れ他	23,538	用紙、インク、他
	会議費	0		2,800	会場費
	設備費	119,338	ビデオカメラ、他	0	
	印刷費	0		2,900	総会資料等
	通信費	0		12,929	切手、ハガキ代
	渉外費	0		12,742	弔電、協働団体
	保険料	0		42,440	NPO総合保険代
	支払会費	0		6,000	協働団体
	雑費	5,600	動画協賛金、他	5,020	収入印紙、他
	支払応援金	200,000	コロナ応援金支払	0	
合計	197,627		369,369		

* 使用しない科目は除いた。

別表2 マイタウンソーラー発電所積立金 (2020年度は新規5号機の収支無し)

科目	発電所積立金	備考
今期初積立金	720,369	
売上高	225,265	3号機(吹上自治会)、4号機(ひかり幼稚園)のソーラー発電使用電気料金
取崩金	0	
今期末積立金計	945,634	

別表3 事業会計

<情報提供・交流事業>

	科目	環境団体 交流会	さやか 編集委員会	環境 サロン	ホーム ページ	合計
経常収益	受取事業費	25,872	105,000	0	0	130,872
	受取参加費	0	0	31,000	0	31,000
	助成金	0	24,445	0	0	24,445
	協賛金	0	44,000	0	0	44,000
	合計	25,872	173,445	31,000	0	230,317
事業費	支払謝礼金	0	25,000	7,000	0	32,000
	交通費	0	0	0	0	0
	消耗品費	0	6,987	13,303	0	20,290
	会議費	0	2,200	1,000	0	3,200
	印刷費	25,872	66,130	0	0	92,002
	通信費	0	14,904	0	16,676	31,580
	渉外費	0	2,200	0	0	2,200
	調査研究費	0	5,000	0	0	5,000
	合計	25,872	122,421	21,303	16,676	186,272
差額	0	51,024	9,697	-16,676	44,045	

* 環境団体交流会はコロナ禍で中止となったが、「狭山市環境団体紹介 2021年版」パンフレットを3月に改訂発行した。

<教育・普及啓発事業>

	科目	環境ウォーク (中止)	分科会				合計
			緑	川	ごみ減量	温暖化対策	
経常収益	受取事業費	0	50,000	50,000	50,000	50,000	200,000
	受取寄付金	0	0	0	0	0	0
	売上金	0	0	0	0	0	0
	受取謝礼金	0	0	0	0	0	0
	受取参加費	0	0	0	0	0	0
	合計	0	50,000	50,000	50,000	50,000	200,000
事業費	支払謝礼金	0	19,000	13,000	10,000	0	42,000
	交通費	0	0	800	0	0	800
	消耗品費	0	313	1,000	4,567	23,354	29,234
	会議費	0	5,230	0	5,370	1,600	12,200
	印刷費	0	0	0	2,930	1,205	4,135
	通信・郵送費	0	1,260	0	94	1,630	2,984
	渉外費	0	0	0	0	5,891	5,891
	調査研究費	0	0	0	0	0	0
	雑費	0	2,568	0	5,218	0	7,786
合計	0	28,371	14,800	28,179	33,680	105,030	
差額	0	21,629	35,200	21,821	16,320	94,970	

* 環境ウォークはコロナ禍で中止。

<連携及び協働の推進事業>

	科目	リサイクル プラザ	環境保全 活動	社会教育 講座	県助成事 業活動	脱炭素チャ レンジカップ	合計
経常 収益	受取事業費	0	0	0	107,953	38,108	146,061
	受取委託金	2,824,665	0	90,000	0	0	2,914,665
	受取助成金	0	0	0	800,000	0	800,000
	売上金	0	0	0	0	0	0
	受取参加費	0	0	0	48,000	0	48,000
	未収金(受取委託金)	0	359,150	47,620	0	0	406,770
	合計	2,824,665	359,150	137,620	955,953	38,108	4,315,496
事業費	人件費	2,443,510	0	0	171,000	0	2,614,510
	支払謝礼金	0	286,970	39,000	291,000	15,000	631,970
	交通費	37,600	0	0	0	0	37,600
	消耗品費	32,525	4,285	2,000	16,546	3,108	58,464
	会場費	0	0	0	191,400	0	191,400
	設備費	0	0	0	0	0	0
	印刷費	0	0	2,385	71,757	0	74,142
	通信費	35,004	0	0	1,080	0	36,084
	調査研究費	0	0	0	4,420	0	4,420
	雑費	2,950	0	4,235	25,250	20,000	52,435
	返還支出	0	0	0	183,000	0	183,000
合計	2,551,589	291,255	47,620	955,453	38,108	3,884,025	
差額	273,076	67,895	90,000	500	0	431,471	

* 県助成事業「市内河川の魅力を掘り起した総合まちおこし事業」は2020年7月に採択され、3月に終了した。(当初計画無し)
 * 2020年度は、環境保全活動と社会教育講座の2020年度受取委託金は、コロナ禍で計画中止もあり、減額変更契約と実績報告後の振込(2021年4月9日)となり、「未収金」の科目追加で計上した。
 また、社会教育講座の2019年度受取委託金90,000円(2020年4月10日振込)は、2020年度の「受取委託金」の科目で計上したので2019年度分が残金となった。(今後は、「未収金」科目追加で当年度報告を行う)

2020年度 特定非営利活動に係わる事業 貸借対照表

2021年3月31日 現在

特定非営利活動法人さやま環境市民ネットワーク

(単位:円)

科 目	金 額		
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
現金	544,212		
三菱UFJ銀行預金	720,536		
武蔵野銀行預金	1,316,200		
ゆう貯銀行預金	41,508		
埼玉りそな銀行預金	229,626		
未収金			
狭山市	406,770		
流動資産計		3,258,852	
2. 固定資産			
器具・備品	0		
固定資産計		0	
資産合計(A)			3,258,852
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	0		
流動負債計		0	
2. 固定負債			
長期借入金	0		
固定負債計		0	
負債合計(B)			0
III. 正味財産の部			
前期繰越金正味財産		2,970,604	
当期正味財産増加額		288,248	
当期市民発電所積立金取崩額		0	
正味財産合計(C)			3,258,852
負債及び正味財産合計			3,258,852

*「埼玉りそな銀行口座」新設(リサブラ用)

2020年度 特定非営利活動に係わる事業 財産目録

2021年3月31日 現在
 特定非営利活動法人さやま環境市民ネットワーク
 (単位:円)

科 目	金 額		
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
現金	544,212		
三菱UFJ銀行預金	720,536		
武蔵野銀行預金	1,316,200		
ゆう貯銀行預金	41,508		
埼玉りそな銀行預金	229,626		
未収金			
狭山市	406,770		
流動資産計		3,258,852	
2. 固定資産			
器具・備品	0		
固定資産計		0	
資産合計(A)			3,258,852
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	0		
流動負債計		0	
2. 固定負債			
長期借入金	0		
固定負債計		0	
負債合計(B)			0
正味財産(C)			3,258,852

流動資産の内訳

	現 金	預 金	未収金	合 計
三菱UFJ銀行		720,536		720,536
武蔵野銀行		1,316,200	406,770	1,722,970
ゆう貯銀行		41,508		41,508
埼玉りそな銀行		229,626		229,626
本部会計現金	109,204			109,204
事業会計現金	435,008			435,008
合 計	544,212	2,307,870	406,770	3,258,852

監 査 報 告

2020年度におけるNPO法人さやま環境市民ネットワークの業務実施並びに会計処理に関する監査を実施しました。

監査の結果、事業計画は適正に実施され、それに伴う会計に関する会計簿は正しく記帳され、活動計算書、貸借対照表及び財産目録は、会計簿に基づいて収支及び財産状態に関する真実な内容を明確に表示したものでありました。

2021年4月25日

監事 角田 いで子

中村 すぎ子

議案第3号 2021年度事業計画案

これまでの活動成果をふまえ、昨年度に引き続き、下記を活動方針として、中間支援組織としての役割を意識しつつ、精力的かつ戦略的に事業を推進する。

①狭山市の「第2次環境基本計画」及び「協働によるまちづくり条例」をふまえ、市民が主体的に取り組むことが望まれる事業を展開する。また、「2030アジェンダ」で示されたSDGs（持続可能な開発目標）とESD（持続可能な社会づくりの担い手を育む教育 ※1）も視野に入れ、本法人としての中長期戦略の成案化を図り、その実現を目指して行動していく。

②緊縮予算のもと、経費の削減に努める一方、収入増にも取り組み、継続的な事業運営に努める。

③会員の定着と拡大に努める。特に企業や団体の加入に努める。また、新たに創設した特別会員の加入を促進する。

④会員の活動への参加を促進するとともに、若い世代の環境まちづくりへの参加を促進する。

⑤環境まちづくりに関わる市民団体への支援とともにネットワーク化を促進する。

⑥環境まちづくりの推進を担う中核的人材の発掘・育成を図ると共に体制強化を図る。

⑦新型コロナウイルス感染の影響に配慮しつつ、市の対応も勘案しつつ、活動を推進する。

※1 1992年に国連で示されたESDはEducation for Sustainable Development（持続可能な開発のための教育）の略です。文部科学省の説明は“つまり、ESDは持続可能な社会づくりの担い手を育む教育です”。ESDはSDGsの目標4「質の高い教育をみんなに」等17目標の達成にも貢献。

1) 諸会議

- ・総会：第14回通常総会を5月に開催
- ・理事会：4月に開催（総会に付議すべき事項を議決、）。
- ・運営委員会：12回開催（原則、毎月第2火曜日、会場休館の場合はオンライン会議に切り替え）。

2) 事業

表-1 2021年度事業計画（案）の概要

（コロナ禍状況を踏まえ、適宜見直しも検討する）

事業区分	事業内容
1. 情報提供・情報交流	①広報紙などの発行（継続） <ul style="list-style-type: none"> ・会報「さやか」の発行（年4回発行）。 ・広報「じゅんかん」の発行（ごみ減分科会、年2～4回）。 ・事業案内「2021年度版」の発行
	②ホームページ等の管理運営（継続） <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページやフェイスブックを活用し、全体事業や各分科会事業の情報や環境関連情報等を随時更新する。
	③環境サロンの運営（継続） <ul style="list-style-type: none"> ・飲酒を伴わない室外での「お昼の環境サロン」を年に1～2回開催、ゲストスピーカーによる講話もまじえながら交流を促す。 ・同一会場での飲酒を伴う「環境サロン」はコロナ禍の間は中止とし、オンラインで、自由闊達な会話ができる交流の場を模索していく。
	④環境関連協力団体との交流を促進（継続） <ul style="list-style-type: none"> ・市内の環境関連協力団体の交流の場として「環境関連協力団体交流会2021」の2月開催を目標とし、新型コロナウイルス感染状況を踏まえ、6か月前に開催判断を行い、可能性があれば推進する。 ・引き続き、ネットワーク化の促進や情報発信への支援を継続する。
	⑤その他 <ul style="list-style-type: none"> ・さいたま緑のトラスト協会（緑の分科会）、荒川流域ネットワーク（川分科会）、埼玉県温暖化防止活動推進センター及び西埼玉温暖化対策ネットワーク（温暖化対策分科会）などを通じて交流を促す。 ・イオン狭山店「幸せの黄色いレシートキャンペーン」に団体登録し、本法人の活動をPRするとともに活動支援を要請する。 ・環境の教育・普及・啓発データ（動画、チラシ、パンフレット等）の蓄積を行い、QRコードを有効活用し、オンライン受信対象者を拡大。 ・その他、適宜、さや環の団体会員をはじめ、市内の環境保全体との交流を促す。

2. 教育・普及啓発	<p>①マイタウンソーラー発電所5号機建設の推進（継続）</p> <ul style="list-style-type: none"> これまでの4カ所の発電所の建設を足掛かりに、発電事業に関する普及啓発を推進し、引き続き5号機の建設を検討する（温暖化対策分科会主導）。 <p>②環境ウォークの開催（継続）</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内の環境魅力を体感する「環境ウォーク2021」はコロナ禍終息時期が不明のため、企画を断念する。 <p>③環境まちづくり資源マップの作成（継続）</p> <ul style="list-style-type: none"> 2017年に発行した「狭山市環境団体紹介」パンフを2021年3月に更新したが、今後2022年度にも順次変化点を反映し、環境団体以外の関連協力団体も包含することから名称を見直し「狭山市環境関連協力団体紹介」パンフとして更新する（緑の分科会主導）。 <p>④出前環境講座の開催（継続）</p> <ul style="list-style-type: none"> 各分科会で主体的に公民館や学校等に働きかけたり、要請にこたえて出前環境講座を開催する。 <p>⑤その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 会報「さやか」や広報「じゅんかん」を活用し、環境関連イベントなどを通じて普及啓発活動を推進する。
3. 連携及び協働の推進	<p>①狭山市リサイクルプラザ展示コーナー等運営業務の受託（継続）</p> <ul style="list-style-type: none"> 再生品・不用品の展示・頒布、不用品登録・斡旋、施設案内、各種体験教室の開催等。 ※コロナ禍が終息してからの受託契約となりそうで時期未定。 <p>②狭山市環境課からの環境保全活動事業の受託（継続）</p> <ul style="list-style-type: none"> 「エコライフDAY さやま」の普及推進（夏・冬の2回）、環境標語及び川柳の募集及び表彰（温暖化対策分科会主導）。 河川（入間川）を活用した野外調査（魚類・植物・野鳥等）の実施、未実施の小学校に対する参加の促進（年3回程度、川分科会主導）。 イベント等への参画を通じた普及啓発、啓発動画の制作とそれを活かした環境教育企画の推進、環境関連事業所の見学などの推進（各分科会で対応）。 <p>③狭山市社会教育課からの環境学習講座企画運営業務の受託（継続）</p> <ul style="list-style-type: none"> 中央公民館及び各地区の公民館と連携し、緑、川、ごみ減量、温暖化対策、環境まちづくりをテーマに「環境にやさしいライフスタイル講座」を開催。※受託契約時期は別途協議 <p>④狭山市・さいたま緑のトラスト協会等との連携・協働（継続）</p> <ul style="list-style-type: none"> 緑のトラスト保全第9号地（通称：緑のトラスト狭山）の管理運営に参加協力（緑の分科会主導）。 水野の森で開催のロッジ水野の森保全委員会&水野公民館主催の「里山ウォーク」に共催者として協力（緑の分科会主導） <p>⑤「市民との協働による燃やすごみ大幅削減プロジェクト」の推進（継続）</p> <ul style="list-style-type: none"> 昨年度に引き続き、燃やすごみの大幅削減をめざし、資源循環推進課と協働し、「有機性廃棄物処理研究会」において調査研究を推進（ごみ減&温暖化対策メンバー主導） <p>⑥「特定外来生物の駆除活動」の推進（継続）</p> <ul style="list-style-type: none"> サクラ等を枯損させるクビアカツヤカミキリの市内侵入を防止するため、埼玉環境科学国際センターや行政及び環境関連協力団体等と協働で市内特定拠点への侵入有無と駆除活動を展開（緑の分科会主導） <p>⑦環境まちづくりの推進に向けた行政との意見交換の促進（継続）</p> <ul style="list-style-type: none"> 古紙・古布の資源化に関し、資源循環推進課と協議をしつつ、その推進を図る（ごみ減量分科会主導）。 「環境基本計画書」改訂版について、「ゼロカーボンシティ宣言」対応も追加して行政との意見交換を促進する。 狭山市商業観光課と入間川河川敷利活用や県土と不老川の改修について意見交換（川分科会主導） <p>⑧その他、環境関連協力団体などとの連携・協働</p> <ul style="list-style-type: none"> 狭山まちづくりリストの会企画の「さやまちゃりんこフェスタ」に協力 その他、適宜、関連団体等との連携・協働を推進する。
4. 相談助言及び支援	<ul style="list-style-type: none"> 適宜対応
5. 調査研究・提言	<ul style="list-style-type: none"> 適宜対応

議案第4号 2021年度活動予算案

2021年4月1日から2022年3月31日まで (単位:円)

科 目	金 額			備 考
	昨年度実績	予 算	増減額	
I. 経常収益				
1. 受取会費	410,000	410,000	0	※1
2. 受取寄付金	102,000	821,000	719,000	新規市民発電所5号機
3. 受取委託金	2,914,665	1,200,000	-1,714,665	リサイクルプラザ※2
4. 受取助成金	824,445	290,000	-534,445	市民発電所、環境啓発パンフ
5. 受取補助金	0	0	0	
6. 売上金	249,665	250,000	335	市民発電所、生ごみパケツ、他
7. 受取謝礼金	0	24,000	24,000	出前講座等
8. 受取参加費	79,000	60,000	-19,000	環境サロン、他
9. 協賛金	44,000	20,000	-24,000	
10. 受取利息	26	20	-6	
11. 市民発電所積立金	0	600,000	600,000	市民発電所積立金取崩
12. 雑収入	200,000	100,000	-100,000	コロナ応援金
13. 未収金	406,770	450,000	43,230	環境保全、社会教育
経常収益計	5,230,571	4,225,020	-1,005,551	
II. 経常費用				
1. 事業費				
(1)人件費	2,614,510	1,050,000	-1,564,510	
1. 給与、手当	2,614,510	1,050,000	-1,564,510	リサイクルプラザ※2
(2)その他経費	1,958,444	3,019,000	1,060,556	
1. 支払謝礼金	705,970	490,000	-215,970	講師、スタッフ
2. 交通費	38,400	24,000	-14,400	駐車料、他
3. 消耗品費	180,677	173,000	-7,677	印刷用紙、他
4. 会議費	206,800	33,000	-173,800	会場費
5. 設備費	119,338	1,450,000	1,330,662	新規市民発電所(5号機)、他
6. 印刷費	170,279	170,000	-279	環境啓発パンフ作成、会報、他
7. 通信費	70,648	20,000	-50,648	資料送付、ホームページ維持、他
8. 渉外費	8,091	10,000	1,909	協働団体
9. 保険料	0	0	0	各種イベント
10. 支払会費	0	0	0	協働団体
11. 調査研究費	9,420	9,000	-420	各種研究、テレワーク調査研究
12. 雑費	65,821	40,000	-25,821	その他費用
13. 予備費	0	500,000	500,000	寄付金目標達成時期遅れ等対応
14. 返還支出	183,000	0	-183,000	
15. 支払応援金	200,000	100,000	-100,000	
事業費計	4,572,954	4,069,000	-503,954	
2. 管理費				
(1)人件費	0	0	0	
(2)その他経費	369,369	490,000	120,631	
1. 支払謝礼金	186,000	222,000	36,000	担い手謝礼 ※3、他
2. 交通費	75,000	76,000	1,000	担い手交通費 ※4
3. 消耗品費	23,538	46,000	22,462	印刷用紙等
4. 会議費	2,800	8,000	5,200	総会、運営委員会等
5. 設備費	0	30,000	30,000	
6. 印刷費	2,900	13,000	10,100	総会資料、案内パンフレット等
7. 通信費	12,929	14,000	1,071	郵送費、HP管理料、電話代等
8. 渉外費	12,742	13,000	258	協働団体、他
9. 保険料	42,440	43,000	560	NPO 保険
10. 支払会費	6,000	20,000	14,000	協働団体
11. 雑費	5,020	5,000	-20	その他費用(振込、他)
管理費計	369,369	490,000	120,631	
経常費用計	4,942,323	4,559,000	-383,323	
当期正味財産増減額	288,248	-333,980	-622,228	
前期繰越正味財産額	2,970,604	3,258,852	288,248	
市民発電所取崩額	0	600,000	600,000	
次期繰越正味財産額	3,258,852	2,324,872	-933,980	

※1 2021.4.1現在、個人127/団体13/事業者22 計162

※2 狭山市との委託契約:リサイクルプラザ(協議中で暫定予算) ⇒当月毎の実績報告後、翌月払いとなる。

※3 担い手謝礼金:代表(15,000円)、副代表、事務局長、会計、企画、HP、環境サロン、環境保全、社会教育、分科会(以上12,000円)、但し兼任の場合は減額)、監事(3,000円)、その他常在スタッフ。(要員追加)

※4 役員及び常在スタッフで、出席度数に応じて

2020年度との比較:

- ①市民発電所5号機の新設検討、②クビアカツヤカミキリ等の「特定外来生物」保存版パンフレットの作成と家庭配布等

議案第5号 2021 度役員体制案

今年度、若干役員の異動がありました。どうぞよろしくお願いたします。

役 職	氏 名	備 考
代表理事	石田 嵩	〈再任〉 事業統括
副代表理事	毛塚 宏	〈再任〉 企画統括、事務局長補佐、緑の分科会リーダー
理事	近藤 彰男	〈再任〉 事務局長、会計統括
	小川 泰男	〈再任〉 会報「さやか」の編集
	神津 正光	〈再任〉 緑の分科会サブリーダー、環境出前講座統括
	皆川 健治	〈再任〉 川分科会リーダー
	福島美登里	〈再任〉 ごみ減量分科会リーダー、本部行事補佐
	吉岡 勇三	〈再任〉 温暖化対策分科会リーダー、HP・環境保全活動統括
	土淵 昭	〈再任〉
	青山 松之	〈再任〉 緑のトラスト狭山及び環境サロン担当
	大貫 裕子	〈再任〉 ごみ減量分科会サブリーダー、リサイクルプラザ窓口
	小川 洋之	〈新任〉
中津川 人峰	〈新任〉	
監事	角田ふで子	(再任)
	中村すぎ子	〈再任〉

※理事の児玉靖は退任